A問題 5

【説明的文章の読解（説明文②）】 池上嘉彦『ふしぎなことば　ことばのふしぎ』より

アリのことば

step by step **ポイント**

★アリの「ことば」は何かをとらえよう。
★犬や猫の「ことば」を読み取ろう。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

みなさんは、アリを観察したことがありますか。甘いケーキのかけらなどを落としておくと、しばらくするとたくさんのアリがそのまわりにむらがって、せっせとそれを巣の方向へ運んで行くのが見られます。巣へ戻るとちゅうのアリが、巣からやってきたアリと出会うと、二ひきはしばらく立ち止まってなにかを話しているように見えます。［A］道を教えてやっているようです。アリも「ことば」を持っているのでしょうか。

動物学者が調べたところでは、つぎのようなことがわかっています。まず最初に、一ぴきのアリが甘いものが落ちているのを発見します。そうすると、そのアリは巣の方へ戻りはじめるのですが、そのときアリの脚の先から、ある特別なにおいのするものがでてきます。それでアリの巣まで戻ったときには、巣と甘いものとの間には、一本の「においの道」ができあがります。巣にいたアリたちは、この「においの道」をたどって、甘いもののあるところまで行くというのです。人間のことばが耳に聞こえる音や、眼に見える形によって成り立っているのとはちがって、アリのことばは、［B］によっているというわけです。

においは、私たちの身近な犬や猫にとっても、大切なことばです。町を歩いていると、犬や猫が電柱や壁におしっこをしているのを見かけることがあります。私たちは、「おぎょうぎが悪いなあ」と思うでしょうが、じつは、①あれは、ここは自分が通りましたよ、とか、このあたりは自分の住んでいるところですよ、ということを知らせるための大切な印だそうです。私たちは、ふつう決まった家に住み、ふだんはいつものかよいなれた道を通って生活しています。犬や猫たちも、その点では私たちとそんなには違いません。（もしかしたら、私たちのほうが、犬や猫と似ているのかもしれません。）

犬や猫は、しっぽの動きででも、いろいろなことを伝えますね。ペットとして犬や猫を飼ったことのある人なら、しっぽのかっこうで、犬が喜んでいるとか、猫が怒っているとかが分かるはずです。面白いのは、犬はうれしいときにしっぽを振りますが、猫がしっぽをピンと立てて先をピクピク動かすのは怒っているときです。動かし方はちょっと似ていますが、意味は［C］になってしまいます。

チェックしよう！

(1) 筆者が、問題を投げかけている一文を探し、(1)（　　）で囲みなさい。

(2) アリは甘いものを見つけると、どこまで運んで行くか。文章中から四字でぬき出し、(2)（　　）で囲みなさい。

(3) 甘いものを見つけたアリが巣へ戻るとき、アリはどこからにおいのするものを出すか。文章中から三字でぬき出し、(3)（　　）で囲みなさい。

(4) 人間のことばは何によって成り立っているか。文章中から七字と六字で二つぬき出し、それぞれ(4)（　　）で囲みなさい。

(5) 猫がしっぽをピクピク動かすのは、どんなときか。文章中から七字でぬき出し、(5)（　　）で囲みなさい。

やってみよう！

1 ［A］にあてはまる言葉として、最も適切なものに○をつけなさい。

ア まさか
イ もしも
ウ 決して
エ まるで

2 ［C］にあてはまる言葉として、最も適切なものに○をつけなさい。

ア 同様
イ 両方
ウ 反対
エ 同時

確認しよう！

1 ［B］にあてはまる言葉を、文章中から三字でぬき出して書きなさい。

2 犬や猫にとって「ことば」にあたるものは何か。文章中から三字と六字で二つぬき出して書きなさい。

3 ――線①「あれ」が指す内容は何か。次の文の空らんにあてはまる言葉を、文章中からぬき出して書きなさい。

犬や猫が［　　］をすること。